

1072 1072

連帶
署名
航空
主計
是筆

決行後回
覽課名

步兵
務手

三月十日

三月三日

三月十五日

件名 陸軍航空學校射撃分校敷地ノ件
受領 二六九八
應名 軍事課

大臣

五

次官

五

高級
副官

主務
副官

主務
官房
主計

決裁

參事官
主務
局長

主務
課長

主務
課員

審案筆記者

第一
部
第二
部
第三
部

遊
局長

課
長

課
長

決行
後回
局長

課
長

課
長

三月十日

控

1076 1077

決裁指定

大正八年

了結 領受 出提 領受 號番

大正 大正 大正 大正

年一月十九日
年十二月十六日
年八月廿二日

覽長 後回 決行 局 帶長 連局

軍事

大臣

次官

五

參事官

局長 主務

課長 主務

高級 副官

長 課 長 課

課員 主務

主官 副官 官房 主計

者記筆案密

陸軍航空學校射擊分校敷地ノ件

連帶 航空 主計 延筆

決行後回 覽課名

步兵 務手

三月十日

三月三日

三月十五日

軍事課

軍部第七

決裁案

陸軍航空學校射撃分校ハ左記理由ニ依リ伊勢國山田市西北方約一里明野ヶ原^{野ヶ原}ニ設置スルコトニ決裁相成度

理由

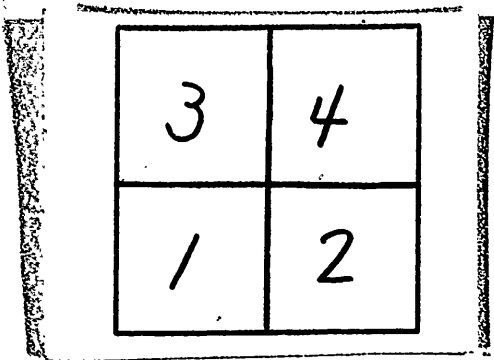

航空學校射撃分校ハ飛行ニ便ナル外空中實彈射撃演習施上海岸又ハ大ナル湖沼ニ近ク尚交通便利ナル地ニ選定セサルヘカラス為之従来候補地タリシ米子、小川原沼、濱名湖、八郎潟、猪苗代湖等ニ就キ各々専門家ノ審査研究ヲ遂ケタル結果ハ何レモ土質若ハ天候ノ不良ナルカ或ハ地域狭小且

且人口稠密等ノ為設備及教育上多大ノ支
障アルヲ免レスシテ適當ナラス
及之伊勢國山田市西北約一里ノ明野ヶ原附
近ハ別紙偵察報告所載ノ如ク氣象、飛行
場、交通、居住等、圖シ概キ要件ヲ充シ
射撃ノ為ニモ附近住民ニ大ナル苦痛拘束ヲ與
フルコトナク之カ演習ヲ實施シ得ルノミナラス尚
土地買収費ハ最低廉ニシテ既得豫算ノ範
圍ヲ甚シク超過スルコトナク所望ノ地域ヲ買収
シ得ルカ如シ

陸

軍

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>6 年 6 月 17 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 加部東 保夫 </p>	

0801

町阪松

市津

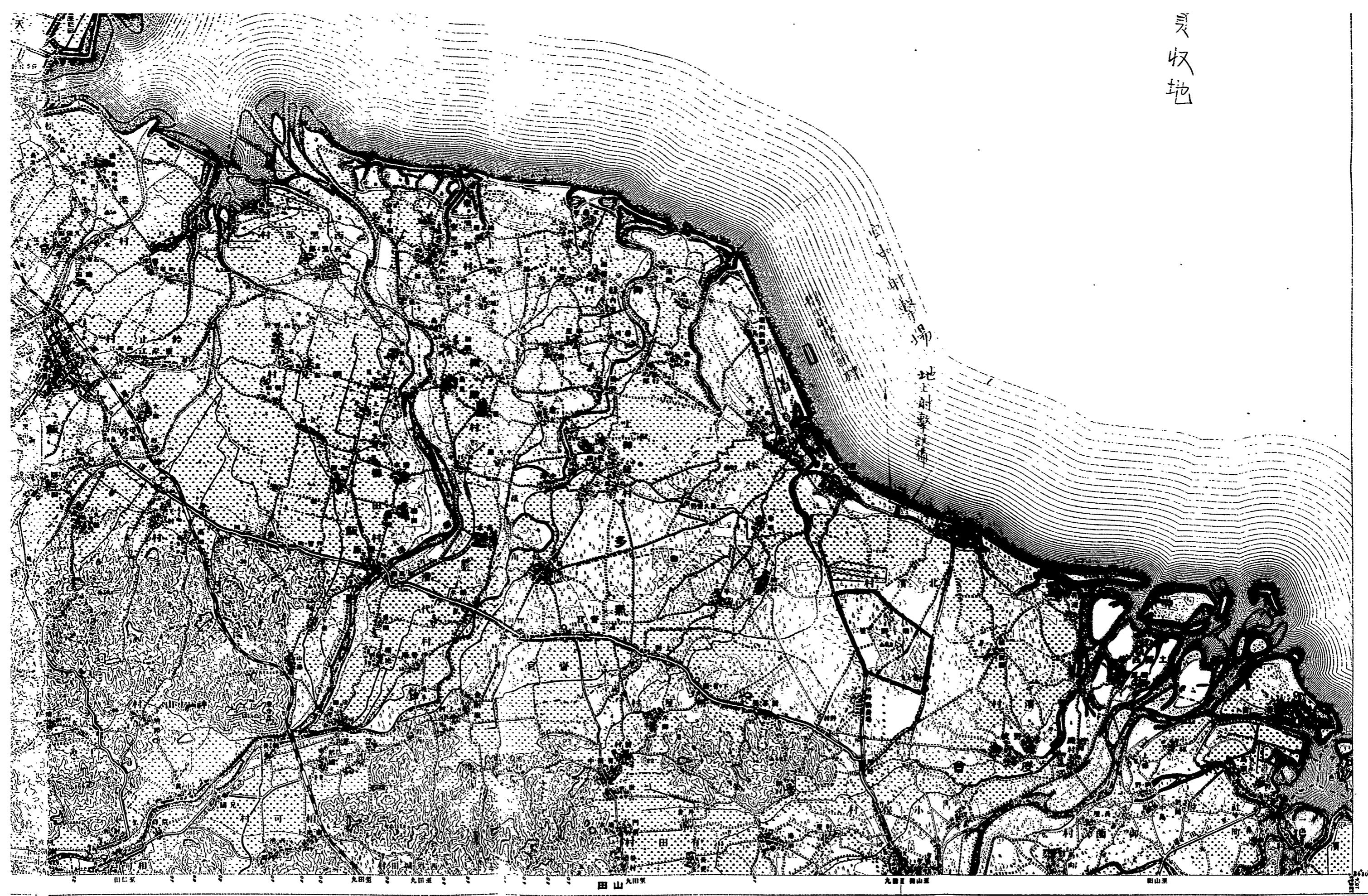


河 勢 伊

○
土地買収地

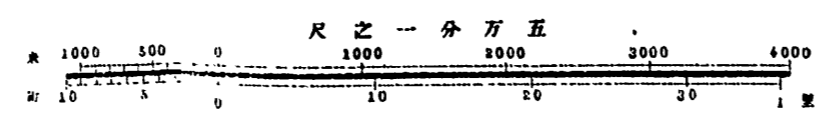
五万分一地形圖山田五號(共十四圖)

美收地



高程ノ東京灣ノ中等間位ヨリ起算シ米突ノ以示ス
圖式ノ明治二十八年式地形圖式ニ據ル

1082



一 郡志
二 郡高
三 郡野
四 郡多
五 郡會
伊勢 伊 縣 三

(別紙)

敷地調査委員長

航空學校射撃分校敷地偵察報告

判決

航空學校射撃分校ハ伊勢國山田市西北方約一

里明野ヶ原附近ニ設置スルヲ可トス

設備概要別紙要圖ノ如シ

理由

一氣象

恒風ハ概テ西北ニシテ風速並雨量ノ關係ハ飛行及射撃ノ爲他ノ候補地ニ比シ優ルモノト認ム其ノ詳細ニ関シテハ松井少佐偵察報告所載ノ如シ

陸軍

二、飛行場

明野ヶ原ハ味高大ノ小松野生スルノ外概ニ芝草
 繁茂セル原野ニシテ地面平坦、土質堅硬、飛行
 場設備ノ爲特ニ大ナル工ヲ要セズ

明野ヶ原ハ當ノ歩兵第五十一聯隊ノ新設ニ當リ
 衛戍候補地タリシ所ニシテ数年奇其ノ大部ハ村
 松村民カ縣ヨリ拂下ヲ受ケ(拂下價格一反歩三十円
 乃至五十円ナリト云フ)逐次開墾ヲ企圖シアルニ大
 部分ハ今尚原野ノ儘存在ス
 地方民註官廳共ニ土地繁榮策上陸軍ノ買上
 ヲ希望シアルカ如キ別紙郡長ヨリ來簡ニ依レハ

地價一及步百六十円乃至三百円ト稱シアルモ平均一及步百五十円ヲ以テ買收シ得シカ然レトキハ分校所要、三千万坪ヲ得ル爲土地買收費十五万円以外ヲ要スヘシ

地平均工事ハ比較的尠キ見込ニシテ地方ノ勞銀ト地形一般ノ狀態トニ鑑ミ平均坪當千錢トシ約五六万円ニテ足ルヘシ

以上ノ計算ヲ基礎トスルトキ、概本既得豫算(土地買收費六万九千円地平均費十三万三千円)内ニテ目的ヲ達シ得ル見込アルモ万一豫定全域ヲ買收スルニ足ラサルトキ、所要ノ地積ヲ買收條件附

三、射撃場

一、一時借上ケ、一及歩一年借上料六月ト納ス、來年度要求ノ豫算通過後殊餘ヲ買収シ得、

村松大淀諸村ノ海岸、比較的漁業盛ナルカ如シ然レトモ地引網ハ月下旬ヨリ十月上旬ニ且ン僅少ノ期間ニ限ラレ又濱海ノ漁業ハ村松北方地區ヲ除ク外多カラサシカ如ク村長ノ言明ニ徴スルモ某時期某時間ヲ限定スルニ於テハ地方民ニ大ナル苦痛拘束ヲ與フコトナク射撃諸演習ヲ實施シ得ルカ如シ但シ之カ爲ニハ豫メ村民ト充分ニ協定ヲ遂ケ將來ニ於ケル苦情ノ原因ヲ芟除スルコトニ

留意スルヲ要ス

地上射撃設備及對地射撃用目標位置ハ澳船ノ
出入駐澳區ノ狀況ニ鑑ミ別紙要圖ノ位置ニ選定
スルヲ可トスヘシ

四、交通

諸器材重材料ノ運搬卸下ハ主トシテ參宮線宮
川驛ヲ利用スルヲ可トシ該驛ヨリ予定分枝敷
地ニ至ル距離約三吉米中明野以北ノ道路及
村松、大湊諸村ニ至ル道路ハ自動車ヲ通スル如ク改修
スルヲ要ス

五、給水及照明



水質ハ概シテ良好ニシテ水量亦概シテ不豊富ナルヲ
如シ

電燈線ハ目下分校豫定敷地ノ西北約一里大湊
村迄延長セラルヲ以テ容易ニ引キ込ニ得ルニ

六 町野勸農場

本勸農場ハ主トシテ養蠶製繭ノ研究ヲ実施シ
遠ク信州方面ヨリモ教習者ノ來場スルモノアルカ如
ク附屬地ハ總テ大桑園トナリ移轉困難ナルモ
ノト認ム而モ強テ之ヲ移サカシム充分所要地續ク
得ルノ手段アルヲ以テ其ノ儘存置スルヲ可トス

七、本分校ノ位置ハ近ク外宮内宮ニ接スルヲ以テ凡

行空域ヲ制限セラルルノ不利アルカ如キモ一面有事ニ際シ内宮外宮ノ空中襲撃ニ對スル防護上一部飛行隊ノ配置ヲ要スルニ當リ頗ル便宜ヲ得ルキヲ以テ空門口此ノ際分校ノ設置ヲ有利トス
 一

ハ職員、學生等ノ宿营地ハ稍遠隔シ多少ノ不便アルヲ免レスト雖山田市、小俣村、大淀村等諸部落ヲ利用スルニ於テハ收容決シテ困難ナラス
 唯將來交通設備ノ改善ニ関シ地方官憲會社等ト協議シ其ノ施設ヲ速ナラシムルコトニ努ムルヲ要ス

極秘

1091



航空學校射撃分校位置決定件通牒

航空學校射撃分校位置決定件通牒

大正八年八月廿五日

陸軍航空部本部長 井上義太郎

陸軍省軍務局長 菅野尚一殿

航空學校射撃分校位置決定件通牒
閣下内地全部ニ亙リ研究ノ數
ヶ所ノ候補地ヲ偵察シテ結果別冊報告ノ通
北明野原附近ヲ最モ適當ト認定致候條至急
成度及通牒候也

陸軍省



陸軍

1092

航空學校射撃分校位置決定件通牒
一 不時着陸地
二 海面淡水
三 海面使用
四 海岸線
五 明野原
六 附近通信網
七 電力網
八 土地買収費

航空甲彙二三號

航空學校射擊分校候補地偵察ノ件報告

大正八年八月拾九日

陸軍航空學校長有川

陸軍航空本部部長井上幾太郎殿

陸軍航空學校長印

八月上旬松井少佐ヲヒテ佛國將校「ペラニ」大尉及「セレー」中尉同伴航空學校射擊分校候補地ヲ偵察セシメタル結果別紙ノ通及報告候也

陸軍

航空學校射撃分校候補地偵察報告

判決

航空學校射撃分校ハ伊勢國山田西北明野ヶ原附近ニ設
置スルヲ適當トス

而シテ當地ヲ採用セバ別條夏圖ノ如ク設備スルヲ可トス

理由

(一) 當地方ノ氣候

過去十年間ノ統計ニ依リハ恒風ハ一ヶ年ヲ通シ概ネ西北ニシ
テ且一ヶ年間ノ平均風速毎秒四米ニ過キス降水量亦一ヶ年
間平均八百六十二花ニシテ本土各地方ノ平均以下トス故ニ氣候
ノ為射撃ノ実施ヲ著シク妨害セラルヘキ虞ナシ

(二) 明野ヶ原飛行場豫定地

明野ヶ原ハ所々ニ膝高大ノ小松野生スル外芝草密生シ
地面平坦土質堅硬飛行場設備ノ為特ニ大ナル土工ヲ要
セス

其廣袤東西約三千五百米南北約千五百米強ヲ算シ且四周
九テ蔽閉ス故ニ陸軍航空隊近キ將來ノ發展ヲ顧慮スル
モ當分ノ展幅廣ニ於テ不足ヲ感スルコトナシ

尚要スルハ上御絲村南方ニ於テ東西及南北各約二千米大ノ
一飛行場ヲ増設スルコトヲ得、其地形及土質ハ共ニ前記明野ヶ
原ト大同小異ナリ、

但シ明野ヶ原ヲ飛行場ニ選定セハ其中央ヨリ東南約六百米ノ

後
大
分

所ニ外官ノ位置スルヲ以テ同方面ニ向テ飛行セシムルノ規定スルヲ要
ス。然レトモ航空第一大隊其他民間ノ飛行機ニシテ從前此村東側
大河原ニ著陸セシモノアリ見ルモ之ヲ為飛行機ノ行動ヲ著ク拘
束スヘキ不利不便ノ觀ニテ

(三) 村松附近海岸射撃場豫定地

村松ト大坂村新田間ノ海岸ハ砂地ナレトモ所々雜草野生シ
且其幅約五十米周ハ概テ平坦ニテ最大満潮時ト雖露出シ
些少ノ地均ニ草ヲ施セハ不特著陸場トシテ利用スルニ適ス。

又海岸ハ岨岸ヲ去ル約六百米間或瀕ニシテ地上及對地射撃用目
標ノ設置ニ便ナリ、海波亦至極靜穏ナリ、
當地方ノ漁業ハ盛ナリ、然レトモ概テ海岸ヲ去ル少クモ八吉米以上

ノ沖ニ於テ實施セラレアルヲ以テ漁船ノ出發及歸還ヲ多少拘束
ス外射撃練習ノ為著シク土民ノ漁業ヲ妨害スヘキ虞ナシ、又射
撃ノ為妨害ヲ受クハ陸上交通ノ存在ヲ認メス、

(四) 佛國將校ノ所見及小原沼案トノ比較

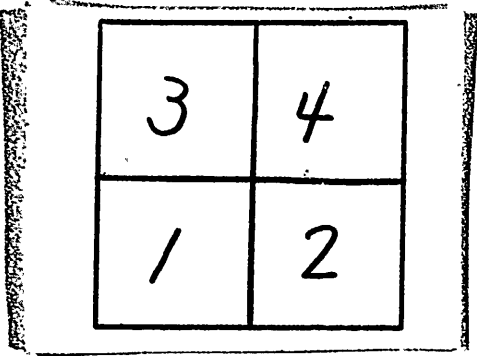

同伴セル佛國將校ハ當候補地ヲ視テ佛國ノ「カゾー」及「
スカロス」空軍射撃場校ヲ了達カ、優良ナル土地ナリト賞讃セリ、
其言稱テ「誘天」失事地ニ是レハ當候補地ニシテ一度決定
セラレシカモ、施設萬般ノ指道ニ任スヘキ覺悟ヲ以テ頗ル眞面目ニ
視察セル結果當地ヲ推薦シテ正マカリ見ハ當候補地ノ適否
ニ就テ甚ク有利ナル判断ヲ下セシモノト推測セサルヲ得ス、
又之ヲ裏キニ偵察ヲ了セテ諸候補中地形上最も適當ト認メ

レシ小川原沼附近ト比較スルニ飛行場将来ノ擴張ト住民ノ稀薄ナ
 ル点トニ於テ前者ニ及ハサルモ降雪ノ為一ヶ年ノ大半ヲ空費シ
 且學校教師ノ居住ヲシテ極度ノ不便ヲ感セシムルカ如キコトナリハ
 勿論空中射撃場ニ充テハキ油上ノ至極靜謐ナルト略々本土
 ノ中央部ニ在置ト交通亦便利ニテ入校學生ノ往復旅行日
 數ヲ節減セシメ得ルヤ利アリ

(五) 豊橋及濱松附近候補地ノ情况

明野ヶ原ノ外豊橋南方大崎村及濱松西方佐鳴湖畔ヲ
 偵察セシモ共ニ全然ノ不適當ナリ

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>6 年 6 月 17 日</p> <p>主務者又は</p> <p>撮影立会者 加部東 保夫 </p>	

町阪市

市津



Vertical legend on the left side of the map, listing various symbols and their corresponding geographical features and administrative boundaries.

明治二十五年測圖同年製版

明治四十四年六月二十五日印刷同年六月三十日發行

大日本帝國陸地測量所明治二十三年測圖

松阪町

市津

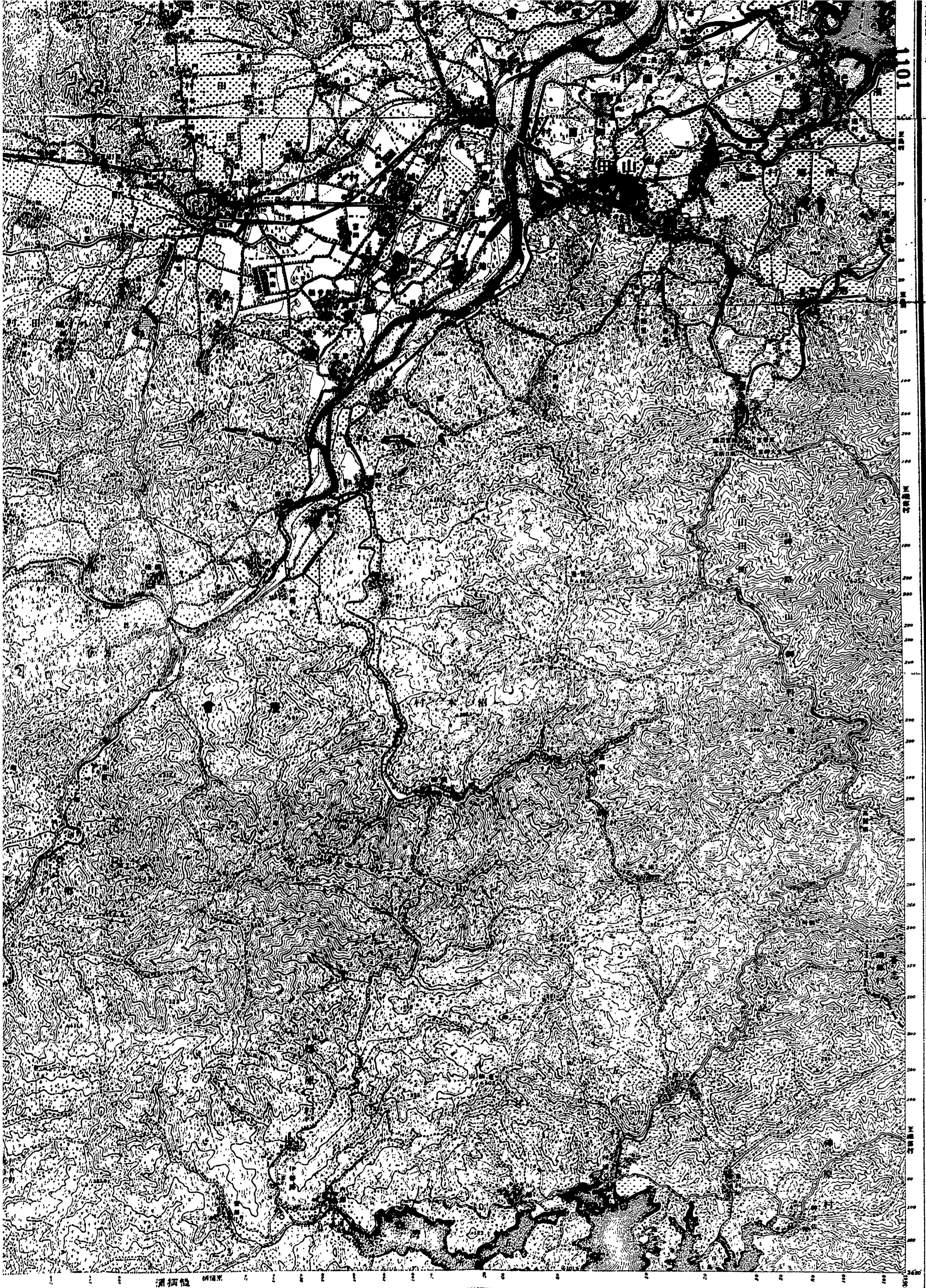


五万分一地形圖山田五號(共十四面)



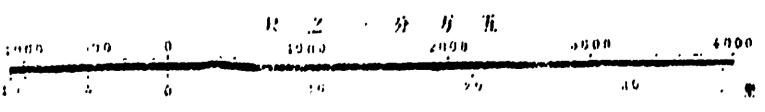
高程ハ東京湾ノ中等潮位ヨリ起算シ米突ノ以テ示ス
圖式ハ明治二十八年式地形圖圖式ニ據ル
五万分一地形

1101



位ヨリ計算シ米突ヲ以テ示ス
地形圖圖式ニ據ル
五万分一地形圖山田六號(共十四面)

高程ハ東京湾ノ中等潮位ヨリ計算シ米突ヲ以テ示ス
圖式ハ明治二十八年式地形圖圖式ニ據ル



三
重
縣
公
民
館
製
版
三
重
縣
公
民
館
製
版

1102

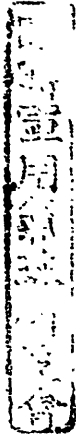
1103

山田 14

松坂町

五分一

23



フカ事紀 三ツ石復旧費トモテノ事書付ル
ラテトテ
以テハ小澤本下ニ有キ松ノ屬名土地ニ有之
事ノ漢書大子地ノ屬名土地ハ全一條
得ト下ニ一五斗金ニ百五斗金ノ上ト
申ルルハ存シテ年々お和地内ノ事ノ事
上ノ事ノ事

三ツ石復旧費トモテノ事書付ル

航空甲彙第一一號

航空學校射擊分枝候補地偵察結果ノ件報告

大正八年七月八日

陸軍少將有川鷹一

陸軍少佐松井

命

陸軍航空部本部長井上幾太郎殿

航空學校射擊分枝設置ノタメ候補地偵察ノ結果別紙
ノ通及報告候也

陸軍

航空學校射撃分校候補地偵察報告

一、偵察箇所

一、米子附近

二、小川原沼附近

三、濱名湖附近

四、八郎瀨附近

五、猪苗代湖附近

二、判決

以上ノ各候補地ハ湖水ノ利用ヲ主眼トシ探定セルモノナルモ
何レモ土質若ハ天候ノ不良ナルカ或ハ又地域狭小且人
口稠密等ノ為設備及教育上多大ノ支障アルヲ免セス

目

<p>若し湖水利用ノ條件ヲ拋棄シ且射擊及爆撃ノ兩科ヲ獨立分離セシムルハ本土沿岸ニ於テ他ニ適當ナル候補地ヲ得ヘキ目途必スシテ絶無ニラス故ニ此新方針ニ基キ更ニ研究ノ上現地ヲ踏査シ然後候補地ヲ決定スルニ適當トス</p>	<p>二 偵察結果ノ詳細</p>	<p>各地偵察結果ノ詳細左ノ如シ</p>	<p>但シ八郎堀及猪苗代湖畔ハ地形及天候殊ノ外不良ニシテ其價値何レモ米子、小川原沼及濱名湖附近ノモノニ及ハサルコト遠キヲ以テ省略ス</p>	<p>第一案 米子附近</p>	<p>地形良好ナレトモ砂地ノ外飛行場ト爲シ得ヘキ所ナキヲ以テ</p>
--	------------------	----------------------	---	-----------------	------------------------------------

一、當地ノ利トスル所在ノ如シ	一、湖面廣ク漁業盛ナラス且ツ要スルハ突道湖ヲモ利用ニ得ルコト	二、飛行場ノ周田ニ山岳ナキコト	三、湖面ト海岸トヲ同時ニ利用ニ得ルコト	四、交通比較的便ニシテ且ツ居住ニ不便ナラサルコト	二、當地ノ不利トスル所在ノ如シ	一、飛行場砂地ニシテ堅固ナラス芝草ノ繁殖ニモ年數ヲ要スルコト	二、冬季ノ天候殊ニ不良ナルコト	三、良好ナル爆撃練習場ナキコト	四、附近一般ニ耕地ニ乏シキヲ以テ價格比較的大ナルヘキコト（一	五、歩四百田内外ナラン）
----------------	--------------------------------	-----------------	---------------------	--------------------------	-----------------	--------------------------------	-----------------	-----------------	--------------------------------	--------------

陸

尾

第二案 小川原沼附近

居住ニハ頗ル不便ニシテ且ツ積雪ノ為冬季使用ニ難キニ射撃
練習場トシテハ適當ナリ

地形及設備

一、小川原沼ヲ撰定セハ別紙第三號圖面ノ如ク設備スルヲ可トス

一、小川原沼ハ鱒及蜆貝ヲ産ス然レトモ漁業ハ左ニテ盛ナラス其ノ他ノ交
通ハ殆ト皆無ナリ

一、海岸ハ緩傾斜ニテ深サヲ増シ海濱ハ平坦ニシテ多クハ堅キ赤土
ヨリ成リ不時着陸ニ利用ニ得ヘク所々ニ散在セル漁村ハ頗ル低級
ノモノニシテ要スルハ金村ヲ移轉セシムルモ大ナル經費ヲ要スルコト
ナシ

不適當ナリ

地形及設備

一、米子附近ヲ撰定セハ別紙第一號圖面ノ如ク設備スルヲ可トス

一、中海ハ貝類養殖ノ外漁業ニハ多ク利用シラス 湖水内船舶ノ

交通ハ松江、米子間、及松江境間ニ一日二回小蒸汽船ノ往復

アルト境、揖屋間ニ時々汽船及帆船ノ往復アル外一般ニ頻

繁ナラス 射撃練習上大ナル支障ナキモノト認ム

一、海岸ハ急ニ深シ海濱ハ平坦ニシテ廣ク所々ニ網置小屋アルノ

ミ不特ノ著陸ニハ利用シ得ヘシ沿海ノ漁業ニハ地利網ヲ用

フレトモ若干制限ヲ與フレハ射撃練習上大ナル支障

ナキモノト認ム

陸

軍

<p>一 飛行場ニ撰定セル地ハ僅少ノ起伏アレトモ大工事ヲ行ハスニテ之ヲ平坦ニ為スヲ得ヘシ但シ地質ハ純粹ナル海濱ノ砂ナルヲ以テ濕潤セルトキノ外ハ表面堅固ナラス又芝草等ニヨリ其表面ヲ固ムルコトモ多額ノ經費ヲ投スルニアラサレハ短年月ニ成效スルコト不可能ナリト認ム</p>	<p>一 天候冬季(五月朔)ハ全日数ノ三分二以上曇天ニシテ降水アリ且ツ風速稍大(平均四乃至四五米)ニシテ練習上良好ナラス然レトモ射撃ノ練習ハ通常低空ニテ行ヒ得ルヲ以テ曇天ノトキヲモ利用スレハ冬季全然練習ヲ休止スルニハ及ハサルヘシ降雪ハ多カラス</p> <p style="text-align: center;">當地撰定ノ得失</p>
--	--

一、飛行場ニ撰定セル地ハ牧場ニシテ芝草密生シ高サ三尺内外ノ相ノ疎散ナル植林アリ之ヲ伐除セバ頗ル良好ナル飛行場ト為スヲ得ヘシ土地ハ村有ナリト云フ其ノ他附近ニ於テ不時ノ着陸ニ適スル地多シ

一、天候冬季(自十二月)ハ積雪多ク甚ニキトキハ五六尺ニ達ス故ニ冬季間ハ練習ヲ休止セサルヘカラス然レトモ八戸近傍ニ至レバ積雪量甚タ少ナキヲ以テ冬季強テ練習ヲ續行セントモハ該地北方ノ牧場ヲ利用スルヲ可トス風ハ八戸ニ於ケル觀測ノ結果ヨリ推断スルニ四五月ノ頃ヲ除ケハ速度大ナラサルモノ、如シ

一、居住地トシテハ附近ニ適良ナル部落絶無ナルヲ以テ廠舎生活ヲ為スヲ要ス七戸町八戸町等ノ外ハ小學ノ児童モ不潔ナルモノ多キヲ以

佳 宜

<p>ラ職員ノ児童ハ八戸町或ハ青森市小學校ニ入ルヲ可トス之 カ為其ノ家族ハ八戸町或ハ青森ニ置キ時々職員ヲ歸省 ヲ許ス如クスルヲ要ス八戸町ニハ其ノ他中學校、工業學校、高等 女學校アリ</p>	<p>一、古間木驛ヨリ飛行場至ル道路ハ路幅廣キマ凸凹多ク不良ナル ヲ以テ改修ヲ要ス</p>	<p>當地撰定ノ得失</p>	<p>一、當地ノ利トスル所左ノ如シ</p>	<p>一、廣キ飛行場ヲ得ルコト容易ニテ且ツ四周ニ時着陸ニ適スル 地多キコト</p>	<p>二、湖面ト海面トヲ同時ニ利用ニ得ルコト</p>
--	---	----------------	-----------------------	---	----------------------------

三 附近ノ人家稠密ナラサルコト

二 當地ノ不利トスル所左ノ如シ

一 冬季練習ヲ休止セサルヘカラサルコト

二 湖面稍狹キコト

三 交通不便殊ニ居住ハ甚シク不便ナルコト

第三案 濱名湖附近

同時ニ三方ヶ原ヲ利用シ得ル利アレトモ周田ニ山岳多ク湖面狹ク且ツ湖畔ニ充分ナル着陸場ヲ得難キヲ以テ適當ナラス

地形及設備

一 濱名湖ヲ撰定セハ別紙第三號圖面ノ如ク設備スルヲ可トス

二 湖面ハ採藻舟多キモ若干ノ制限ヲ加フトハ練習ニ支障ナ

陸

軍

カルヘシ今切附近ハ漢船ノ通過頻繁ナルヲ以テ利用上若干ノ制限ヲ受ケサルヘカラス

一、海岸ハ緩ミテ利用支障ナシ

一、飛行場ハ大土エヲ施スニアラサレハ充分ナル地積ヲ得ルコト困難ニテ飛行機試運転等ハ之ヲ三方ヶ原ニテ施行スルヲ要ス

一、交通ハ便利ナリ

當地撰定ノ得失

一、當地ノ利トスル所左ノ如シ

一、交通及居住ノ關係便ナルコト

二、三方ヶ原ニ近クシテ爆撃ノ練習ニ便ナルコト

三、湖面ト海面ト同時ニ利用シ得ルコト

二、當地ノ不利トスル所左ノ如シ

一、湖水ノ周囲山岳多ク不特ノ着陸不可能ナルコト

二、湖岸ニ良好ナル着陸場ナキコト

三、湖面稍狭キコト